2019　No.316　2019年9月号　発行／2019年9月1日

The Ehime Association of Small Business Entrepreneurs

Ehime Doyu 9月号

2019年度スローガン　**同友会の学びで良い企業づくりを実践し、地域から期待される憧れの企業になろう！**

同友会理念

良い会社をつくろう、良い経営者になろう、良い経営環境をつくろうの同友会3つの目的実現に向けて「地域社会と共に歩む」中小企業の自覚をもち「自主・民主・連帯」の精神で企業経営と会運営を行うことです。

松山支部各地区会 単独例会開催に伴い 8・9・10月、2020年4月号は増ページです！

発行：愛媛県中小企業家同友会　編集：広報情報化委員会

目　次

今治支部例会……2
松山支部第2地区会例会……3
東温支部例会……4
松山支部第3地区会例会……5
四国中央支部例会……6
伊予・松前支部例会……7
松山支部第1地区会例会……8
第51回中同協定時総会……9
リーダーシップ研修閉講……9
経営フォーラム広告募集……10
報道関係者との懇談会……11
同友会で俳友会……12
会員掲示板……13
理事会議事録……14

労使見解の精神に学ぶ 第17期同友会大学9月20日開講迫る！

第17期同友会大学が9月20日㈮からスタートします。セミナーの目的は①労使見解をすべての基本として考え、経営者としての覚悟と社員さんに対する考え方を明確にする、②経営理念の大切さと成文化にあたっての深め方を学ぶことで自社の存在意義を明確にする、③利益の上げ方（入り口）を学ぶ、④利益の分配（出口）の仕方を学ぶ、以上4点です。同友会大学の校訓は「より真剣に、ともに学び、ともに育つ」。経営者だけでなく、経営幹部や幹部候補、後継者を対象にした経営の本質を学ぶセミナーです。ぜひ、自社のよい企業づくりに本セミナーをご活用ください。

講師陣・講義日程につきましては、同封の案内チラシをご確認ください。

陶冶

常識を問い直す

明らかに社会的・倫理的に許されないことだとわかっていても〝お願いだ〟と言われて黙っていることにした。しかし結局、表に出てしまい皆が処分を科せられることになってしまった、ということが現実に起きています。しかし、そうなってから〝だからあのときちゃんとそう言っておいたのに〟と言っても、一緒に隠した罪から逃れることはできません。知ってしまったらどうするか、大変厳しいことですが、腹をくくって自分自身の考えを確立し、決断しておかなければなりません。不祥事の際には、トップは知らず現場の判断だった、という釈明がよく行われます。あのような不祥事は特殊な例だから、とは言っていられません。多くの人が〝まさか〟とか〝うちにかぎって〟と思っています。しかし突然、自分たちが渦中の人になってしまうのです。誰にでも迷いは常にあります。社会的・倫理的に反する行為が明らかになる前に必ずそのもとになるシグナルが出ているはずです。もしあなたの周りでそのような兆候や噂、疑問があれば、あなたは注意深く行動しなければなりません。兆候や噂、疑問を謙虚に受け止め、偏見なく事実を集め、現実を正しく認識することです。仕事の方針、判断が誤った方向に行きそうなとき、あなたはどのように行動すればよいでしょうか。誤った方向に対し、反対しようとする人が誰なのか、その人は人の言いなりではなく、何によって行動しているのかを見ておくことが必要です。そして、あなたの考えと近い人と新しい友人を作る気持ちでコミュニケーションをとりましょう。部下についても同じです。きちんと筋の通っている人の意見には、耳を傾けるようにしましょう。多くの人と語り合い、あなたの考えを確立することが大切です。噂や兆候が現実になってからでは遅いのです。常識というモノサシがズレていないか、常識的に考え、行動するという意志が弱くなっていないかなど、当たり前のことを総点検しなければならないのです。（横）

愛媛県中小企業家同友会
〒790-0003　松山市三番町1-11-10 ISSEIビル301　TEL(089)948-9920　FAX(089)948-9931　http://ehime.doyu.jp

会報誌をよりよくするためにご意見やご感想をください。

今治支部 7 月例会

倒産寸前の会社が再誕した「市場創造」とは
～“値引きなし”“モノマネなし”が自社の価値を高め未来を創る～

■報告者：**好永　隆之** 氏
　株式会社昆布森　常務取締役／
　愛媛県中小企業家同友会　理事・伊予松前支部幹事長
■日　時：7 月 16 日(月)　■会　場：今治地域地場産業振興センター
■参加者：28 名

好永さんと座長の河上顕一さん（右）

7 月 16 日(月)に行われた今治支部 7 月例会では、「倒産寸前の会社が再誕した市場創造とは」をテーマに、株式会社昆布森・常務取締役の好永隆之さんにご報告いただきました。

グループ討論の様子

例会で好永さんが挙げられたポイントは 3 つありました。

＜ポイント 1：業績が良くならないのはどうしてかを考える＞

好永さんの分析は、「顧客の要望を調査せず、自社の先入観で製品を製造していた」ことでした。そのため、様々な商談会への出展や、小売店の営業会議への参加などを積極的に行い、現場の生のニーズを収集しました。そのおかげで、求められるものが以前まで考えていたものとは全く異なるものだったことに気づきます。

＜ポイント 2：何を変え、何を残せばお客様に必要とされるのかを考える＞

市場調査と取引先との積極的な対話により、ある程度の方向性が見えてきたところで、やることとやらないことの線引きも進めました。

昆布森さんには「鉄のルール」というものがあります。「こだわり品であることを意識し、商品価値を認めてくれるところに安心・安全に高品質で安定供給する」ことを前提に、①安売りをしない。②コピー品製造依頼は受けない。③個人あるいはそれに近い経営をしているところとの取引は慎重になる。この鉄のルールをもとに、誰に、何を、どのように売りたいかなど、方針を明確にした営業方針を定めたことが、再建につながったそうです。

＜ポイント 3　経営者としての決意を固める＞

好永さんの再建策は、直接現場まで足を運んでの「情報収集」、それにより得た知見による「絞り込み」の戦略です。自分たちの領域を「選択」し、そのことに「集中」する。そして、それを「徹底」する。シンプルですが、「根気」と「勇気」のいる経営だと思いました。経営者たる者の覚悟を学ばせていただきました。

昆布森さんの商品たち

また、報告には業界ならではの裏話などもあり、中身の濃いものでした。各グループ討論も盛り上がり、活気のある例会でした。

寄稿：白石　亮太郎さん
（白石塾／今治支部）

今治支部会員の経営指針：昭和防災商事株式会社　村上善亮さん

7 月の会員企業訪問は村上善亮（よしあき）社長ご経営の『昭和防災商事株式会社』です。1981（昭和 56）年の 11 月に前社長のお父さまが昭和防災商事を創業。その後 1989（平成元）年 5 月に法人化、社員数は 5 名（営業 3 名、事務 2 名）。営業エリアは東で新居浜市、西は松山市まで幅広く、長年の営業と信用で大手建設会社、造船会社やその他製造業のお客様に安全衛生保護具（ヘルメット、作業服等）や工事用品、建築資材の調達を軽いフットワークを持ち味に頑張っておられるそうです。

10 年前に前社長のお父様が他界し、村上さんが社長に就任。お母様と二人三脚で奥様も加わり、現在はお母様のご苦労を少しでも減らそうと引き継ぎをしている最中とのこと。同友会には 2008（平成 20）年に入会、経営指針成文化セミナーにも参加して経営者としての資質向上を図るものの、普段の忙しさにかまけて現在も結局経営指針書は出来ずじまいとのことでした。

『村上社長の今の最大のお悩みは？』と伺うと、『営業社員が病気で 1 年あまり休職し、先月で退社に。今までなんとか私と残りの社員でカバーしてきたが、勤務実態にやはり無理があって、新規採用で穴を埋めたいが求人も思うようにいかない』とのこと。『例会にも顔を出せず申し訳ない』との一言に『そんなときこそ同友会ですよ、共同求人に大学との連携など手はありますよ、また顔だしてくださいね』と同席した松田幹事長、今岡幹事と声がけして大変有意義な企業訪問となりました。

寄稿：杉原　一史さん（㈲周桑電機工業所／今治支部）

松山支部第２地区会７月例会

社員から経営者に！経営者とは、何が必要なのか？
～共に学び共に育ちあう社風づくり～

■報告者：**東　晃一**　氏
株式会社 K's mob　代表取締役／愛媛県中小企業家同友会　会員
■日　時：７月 17 日㈬　■会　場：松山市男女共同参画推進センター COMS
■参加者：20 名

座長の金子司郎さん

株式会社 K's mob の東晃一さんより「経営者には何が必要なのか？」というテーマでご報告いただきました。東さんの経歴は多彩です。1999 年にブライダル会社に入社。2 年後には統括部長として頭角を現し業績アップに貢献しましたが、激務続きで体調を崩し 2013 年退社します。その直後に IT・飲食関係の会社を設立しましたが、経営は「自己流」で「自分のことのみ考えていた」ことから経営問題に悩むことが多かったそうです。

そんな折に故・鎌田哲雄さんと三好大助さんとの出会いがあり、時折り相談に乗ってもらったことで随分救われたとのことです。2014 年には同友会に入会し本格的に立ち直る契機を得ましたが、2016 年の松山市個人情報漏洩事件発生により会社は事実上立ち行かなくなりました。

2016 年 5 月、いっせいグループの居酒屋「おだいどこ」に入社し再び頭角を現します。折からの人手不足に伴い繁忙期、特に年末年始をどう乗り越えられるかが大きな経営課題となっていました。パート従業員は労働時間制限があり思うようなシフトが組めません。

超多忙→ミス発生→クレーム多発という悪循環、従業員同士の人間関係、衛生面の問題と解決すべきことは山積みです。そんなときあるパート従業員の「短時間なら仕事入りますよ！」の一言に救われたそうです。税金上一定時間超えの就労を嫌がるパート従業員が店の窮状と東さんの奮闘振りに刺激されて発した言葉でした。初めての年末年始をやっとのことで乗り越えたとき、東さんは自分の「チーム」作りが出来たと感じたそうです。

軌道に乗った 2017 年 5 月、フランチャイズ「おだいどこ」から自社ブランド「花咲か爺屋三番町店」に屋号変更となりました。それに伴いメニュー・仕入れ・広告宣伝等全てが変更となったことで、せっかく「チーム」を作り上げたのに…との忸怩（じくじ）たる想いと葛藤のなか再びチーム作りを始めます。2018 年 4 月、現会社を設立し同屋号で営業出来る運びとなりました。

例会報告の様子

東さんは以前徳島同友会で学んだ行動指針を大切にしています。①自己年表を作る。②ゴミ拾いにプライドを持つ。③ルールであまり縛らない。④常に従業員と話し合う。⑤責任者と目標を決める。但し全ての責任は社長が負う。

東さんは従業員さんからも「東さん」と呼ばれているそうです。「チーム東」の一体感がそこに集約されていると感じた学びの多い例会でした。

寄稿：大西　英一郎さん
（プルデンシャル生命保険㈱松山支社／松山支部第２地区会）

松山支部第２地区会情報：ビアガーデン開催！

8 月 2 日㈮ 19 時より、ANA クラウンプラザホテル松山の最上階ルーフガーデンにて松山支部第２地区会員交流会が開催されました。今回は障がい者委員会のビアガーデンと同日開催で、あわせて総勢約 30 名での交流会となりました。ゲストやオブザーバーも参加され、同友会パンフレットをお渡しして例会などにもお誘いさせて頂きました。参加者の皆さんはやはり経営者らしくビシっとしたスーツ姿の方が多く見受けられ、冷えたビールや美味しい料理の前に名刺交換から始まり、何度も乾杯の声が響いていました。普段参加できない会員さんとも深い交流が出来たのではないかと思われます。後半では普段見せる企業戦士の姿ではなく、肩肘張らない仲間同士の笑いの絶えない楽しい交流会になっていきました。暑い中が参加いただき誠にありがとうございました。またやりましょう！

寄稿：内藤　成博さん（㈲福助珍味／松山支部第２地区会）

東温支部７月例会

同友会で学んだ経営に大切なこと
～感覚だけの経営から計画的な経営へ、その中でも経営理念の大切さ～

■報告者：**大村　英幸**　氏
株式会社パレット　代表取締役／
愛媛県中小企業家同友会　四国中央支部幹事

■日　時：7 月 17 日㈬　■会　場：東温市商工会館　■参加者：16 名

大村さんと座長の米田順哉さん（右）

報告する大村さん

大村さんは、昨年 7 月の四国中央支部、12 月の愛媛大学提供講座でも同じテーマで報告されましたが、回を重ねるごとに、報告の質が上がり、深みを増していると思われます。①報告者が一番学べること、②準備する過程が自社分析、課題の抽出に繋がること、③同友会の学びの本質が「経営者の自己変革」であること認識させられた報告でした。例会には、フェローシステムの社員さんが、大挙して参加してくれてグループ討論も充実したものになりました。できれば、多くの東温支部会員さんに聞いて欲しかった。今治、松山支部でも報告されます。両支部の会員さんには、本番でその人なりの学びを深めて頂きたい。今回は、報告の中身には触れないで、中で出たフレーズを 3 つ取り上げます。

その㈠、幸せとは「感じられる心と自分のことを必要としてくれる人がいる」

子どもの頃の体験から、物質的には何ひとつ不足はないが、両親とも家業が忙しく寂しい思いをしていたこと。その状況が一変し、父君が経営する事業が倒産し、どん底の生活の中でも、6帖一間に家族5人が「川の字」になって寝ていた、その家族の関係こそ人の幸せの原点である～「互いにあてにし、あてにし合う関係」＝「労使見解」にも繋がること。

その㈡、経営理念は「作るのではなく自分の中にあったものを見つけること」

経営理念は、経営者の生き様そのものであると言われます。四国中央支部の経営指針塾で、参加者同士で、自分史を包み隠さず曝け出し、何のために生きているのか、何のために経営しているのかをとことん深め合う、そこから到達したものこそと本物だと思います。

その㈢、「木になった果実を人より早く、奪い合う経営から、自分たちで市場を創る経営へ」

自分や社員の特技を生かし、お客さんが自ら足を運んでくれる、社員の家族も仲間の同友会会員とその家族、そして地域の人々も幸せになる「大きな樹」を育てる経営をめざす。まさに、「地域企業」として同友会の目指す企業像がそこにあると思います。㈱パレットの経営指針が、実践によって裏打ちされ、更なる発展を予感されるような報告でした。

寄稿：平野　啓三さん
（㈱平野／今治支部）

東温支部情報：二宮醸造株式会社　二宮悟郎さん

久万高原町より「地域と共に」

新会員の二宮悟郎さんが
ご寄稿くださいました！

はじめまして。二宮醸造株式会社の二宮悟郎と申します。当社は創業明治 36 年から続く醤油醸造所で、私はその四代目として働いています。当社のモットーは、創業者精神にもとづいて、伝統と信頼をまもりつづけ、周囲の人々に感謝しながら価値ある企業をめざすことです。

当社は旧久万町の久万町商店街の中にあります。昔は 100 件もの商店が軒を連ねていましたが、現在は 30 件程度に減っており急速な過疎化の波に飲まれているのが現状で、この地域と共に生き抜いていくために何かよい策はないかと日々もがいております。

去る 6 月に東温支部の定例会があり、初参加いたしました。感想としては、若い人が多いなということ。また、皆がワクワクしながら楽しんで学んでいるということ。盛んな意見交換もなされ、中には思いもよらない発言もありました。なるほど、“ヒントは人の中にある”のだなと改めて感じた次第です。私も新たな発見の場として積極的に参加していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

寄稿：二宮　悟郎さん（二宮醸造㈱／東温支部）
〒 791-1201　上浮穴郡久万高原町久万 408 番地
ホームページ⇒ http://www.ninomiya-jyozo.jp/

松山支部第 3 地区会 7 月例会

経営と人生、自己変革に終わり無し
～経営指針書と共に歩んだ 10 年とこれから～

■報告者：**有吉　徳洋** 氏
有限会社エーワンセキュリティサービス　代表取締役／
香川県中小企業家同友会　副代表理事

■日　時：7 月 18 日㈭　■会　場：松山市男女共同参画推進センター COMS
■参加者：25 名

座長の中道昇さん

松山支部第 3 地区会が、「指針づくりをしよう」という支部目標を達成する為の場として位置づけた単独例会、第2回目は「経営指針」をテーマに掲げていました。候補者をリストアップした中から、2017 年に松山支部例会で報告をされた有吉さんにその後の実践報告をして欲しいとご依頼をしたところ、快諾していただきました。有吉さんは、今年度から香川同友会の副代表理事に就任されております。

岡山県でセキュリティー会社に勤めていた有吉さんは、様々な経緯から香川県で同業のセキュリティ会社を立ち上げる事になりました。香川同友会に入会した一番の目的は新規開拓だったそうです。目の前に大きな釣り堀が出来て喜んでいたそうですが、魚釣りは思惑通りにはいかなかったものの、後に魚よりももっと大きなもの（経営指針書）を手に入れることになります。自分の会社は、防犯機器を他社よりも安く売ることが仕事だと考えていた当時、「何のために経営をしているのか」という同友会での問いかけに対して中々答えを出すことが出来ず、考え続けた時期があったそうです。

経営理念は 3 回の変更を経て、現在は「私達は事業を通じて人をしあわせにします」になりました。この経営理念のおかげで、仕事に対する考え方の変化、社員さんとの絆がより深まってきたそうです。例えば、ご近所トラブルで、警察から監視カメラ設置の提案がありすぐにでも販売可能な状態にありながら、当事者に話し合う事を促し監視カメラを販売することなく解決に導いた。採用をした人が実はご両親も知らなかったという発達障がいがあり、仕事上様々な問題が発生して会社がばらばらになりかけたことがあったが、社員一人一人と話し合い“人をしあわせにする”という理念のもと皆の気持ちが 1 つになった、などのエピソードは、まさに経営理念の力ではないでしょうか。

数年前から社員さんと一緒に経営指針書を作成されているそうですが、本当にそれで戦えるの？と対話を繰り返し、戦える経営指針書つくりに取り組んでいます。自分が居なくても地域に必要とされ永続をしていく会社にしたいというのが有吉さんの想いです。「経営指針書は社員さんにとっての武器でもある」という言葉には、今日一番の気づきを得ることが出来ました。有吉さん、本当にありがとうございました。

グループ討論の様子

寄稿：中村　剛さん（㈱コピー愛媛／松山支部第 3 地区会）

松山支部第 3 地区会情報：社会福祉法人双星会 高木保育園　門屋晃二さん

1974(昭和 49) 年にご祖父が開園されお母様、門屋さんと 3 代にわたって、高木地域の子供の成長を見守ってきた高木保育園。141 名の保育に対して社員さん 46 名 (うちパート 25 名)。園に入って木の遊具や造作が多いことに気づきお尋ねすると、「危ないからと言ってさせないのではなく、遊びたいだけ遊んで逞しく能力を得てもらいたいし、園の周りの環境とも合うんです」と。

保護者の方に配られている今年度の案内冊子を拝見すると、「あったか家族がいいね！」をコンセプトに大きく 4 つの方針があり、その中に「子どもたちの最善の利益とは」「福祉の増進を図る」「豊かな心と生きる力を育む」などの文字が。そして「保育の目標」も詳しく丁寧にわかりやすく書き連ねられています。保護者向けの案内冊子ではあるものの、経営指針書の多くが既に存在していました。保育も「多様性」という言葉を意識せずにはいられない状況のようです。「園の方針をベースにするのは勿論ですが、みんなを同じ人間にはできません。141 の『個』をしっかりと見ていかなくてはならない」

同友会に入会され、会にも積極的に参加されている門屋さん。優しい眼差しが魅力的ですが、その奥に経営者としての覚悟が見えます。そして何より学ぶことの喜びを感じられていることが伝わってくる時間でした。

寄稿：中道　昇さん（㈲モンド／松山支部第 3 地区会）

四国中央支部７月例会

元気の出る地域づくり会社づくり
～成功・成長している会社の経営者の戦略・戦術～

■コーディネーター：**中泉　輝彦**　氏
株式会社かがやき総合保険企画　代表取締役／
愛媛県中小企業家同友会　四国中央支部副支部長

■パネリスト：**真鍋　大作**　氏
有限会社大真　代表取締役／
愛媛県中小企業家同友会　会員

■パネリスト：**宇高　将仁**　氏
泉製紙株式会社　取締役常務／
愛媛県中小企業家同友会　理事・四国中央支部幹事

■パネリスト：**好永　隆之**　氏
株式会社昆布森　常務取締役／
愛媛県中小企業家同友会　理事・伊予松前支部幹事長

■日　時：7 月 18 日㈭　■会　場：ホテルグランフォーレ　■参加者：25 名

左からパネリストの宇高将仁さん、好永隆之さん、真鍋大作さん、コーディネーターの中泉輝彦さん

四国中央支部７月例会は通常の報告ではなく、パネルディスカッション形式で、泉製紙㈱の宇高将仁さん、㈱昆布森の好永隆之さん、㈲大真の真鍋大作さんの３人をパネリストに、㈱かがやき総合保険企画の中泉輝彦さんにコーディネーターを務めていただきました。

今回の例会は、特に勢いのある経営者のお三方から色々なテーマでお話を聞かせていただくことができました。

まず「事業が好調な理由はなぜですか？」という問いに対し、商品の価値創造について、商品の価値は他社がマネをすることやお客様のニーズの変化に伴い失われてゆくものであり、常に次の新しい価値を作ってゆかなければならいというお話がありました。

真鍋さんのお話では、立て続けに出店が上手くいかず次の出店の機会にご自身が迷っていたのをスタッフが背中を押してくれたことと、今まで真鍋さんが決めていた企画をスタッフに任せてみたらそれが当たったというお話が私はとても印象的でした。

商品の価値も大切だけど会社で働く社員さんの成長がもっと大切な価値を作っているのだと感じました。

社員さんのやりがいについては宇高さん、好永さんの会社でもとても大切に考えられていて理念の共有や社員さんの賃金の面でもかなり考えられているそうです。その結果の一部として離職率の低さとして効果が現れていることを教えていただきました。

グループディスカッションにはパネリストも参加

グループディスカッションでは、社員さんの成長ややりがいについて話が盛り上がりました。せっかく育った人が辞めてしまってはまた初めから育て直さなければならないので、会社の強みを作るということは戦略や戦術のみではなく、いろいろな要素が総合的に成長することで生まれることなのだということがわかりました。

そこには経営理念の存在がとても重要である事を再確認することが出来た素晴らしい例会でした。

私もパネリストの皆さんに少しでも近付き、良い会社をつくるために頑張りたいと感じさせていただいた大変有意義な例会でした。

寄稿：大村　英幸さん（㈱パレット／四国中央支部）

四国中央支部情報：株式会社光洋　三谷桜子さん

新入会員の株式会社光洋　代表取締役　三谷桜子さんの会社に訪問してきました。社員６名、設立 1959(昭和 34) 年 10 月、三代目の三谷さん。仕事内容は、ポンプ・パイプ・ホースの卸売をされており、四国中央市を中心に業者の方々との人脈を大事にされ機動力を武器に仕事をされています。この業界での女性社長は、戸惑うことも多いですが、笑顔とガッツで乗り越えて来られてます。会社の雰囲気もアットホームで若い社員さんも今年の４月に入社され活気のある事務所でした。これから一緒に学んでいきましょうと挨拶して帰りました。

寄稿：長野　禎毅さん（㈱美寿寿／四国中央支部）

伊予・松前支部７月例会

ベルトコンベアで「不易流行」を見極める
～会社と社員の思いをつなぐ鎹となり、世の中に貢献～

■報告者：**豊田　誠** 氏
　大成ベルトサービス有限会社　取締役／愛媛県中小企業家同友会　会員
■日　時：7 月 19 日㈮　■会　場：松前町総合福祉センター　■参加者：23 名

座長の武田正輝さん

7 月の伊予・松前支部の報告者は大成ベルトサービス有限会社の豊田誠さんです。豊田さんは同友会入会 3 年目ですが報告を快諾して頂き本日の例会となりました。

大成ベルトサービスは豊田さんのお父様が経営されており、ベルトコンベアのベルト部分の修理・メンテナンスをしている会社です。工業系や食品加工業に多くのお客様を持っている会社で、切れたベルトをつなげる特殊技術も持たれています。

豊田さんは自社に戻り、創業から 40 年以上続く自社を「すごいなぁ」と感じますが、世間との違いにも気づきます。例えば、計画があっても社員さんは誰も知らない。就業規則があるにもかかわらず当日の仕事が終われば就業時間内でも社員さんが帰る。急な仕事が入ると休日出勤になり数少ない休日すら消化できない。ベテランの技術が若手に引き継がれていない等、問題が山積していました。コミュニケーション・情報共有不足の解消のため、週に 1 回の朝礼を実施しますが「何のために朝礼するの？」と社員さんからは理解してもらえません。一人親方的な考えを持つ社員さんが多く、「会社はまとまりのない集団になってしまっている」と豊田さん。

しかしながら、40 年以上続くことにも理由があります。それは「お客様に求められている」から。ニッチな業界で競合他社が少ないということもありますが、「自己研鑽し、技術の継承（共育）をしていくことでより強い会社になれる」と豊田さんは話します。豊田さんにとって、本例会のテーマ「不易（変えてはいけないところ）」は「お客様のために」という想い。「すべてを変えるのは難しいが自分の理想とする会社に徐々に近づけていきたい」と宣言し、報告は終了しました。

グループ討論の様子

報告後の討論では「皆さんの“はじめの一歩”はどうでしたか？」というテーマで討論。自身の経験を振り返って共有し、これからどんな会社を目指して何に取り組んでいくか等討論されました。グループ発表では「新しい取り組みに対し、目的を具体的に伝え、納得してもらえるような姿勢が必要」と豊田さんへのアドバイスもありました。例会後の懇親会ではもつ鍋を囲みながら例会の延長戦を行いました。

寄稿：塩崎　智生さん（はじめ科学㈱／伊予・松前支部）

伊予・松前支部情報：有限会社清伸産業　田中清久さん

この 5 月から伊予松前支部の新しい仲間となった、有限会社清伸産業の田中清久さんを訪問しました。実は田中さんの同友会歴は 10 年。この度東温支部から会社のある伊予松前支部に移籍されました。仕事内容は基礎工事。1998(平成 10) 年に田中さんが創業されました。

田中さんが今抱えている経営課題は人材不足ということ！世間では建設業界は需要が大きいため「忙しい」というイメージを持っている人が多いが、実際は従事する人が少ない為「忙しくなってしまう」というのが現状とのこと。

そこで田中さんが日本でもここだけという「愛媛基礎工事業協同組合」を地元の同業社 7 社で立ち上げられました。その目的は次世代の人材発掘・育成、そして労働・経営環境の改善が目的とのこと。組合主催で業界のことを知ってもらう学校への出張講座なども行っており、関心を持ったファンを作り、それを次世代の人材を確保・育成をつなげるよう目指し取り組まれております。

人は企業の礎です。その基礎の大切さを知る田中さんは「人を大切にする」「仕事を大切にする」専門家でした。

寄稿：山崎　剛さん（協和パックス㈱／伊予・松前支部）

松山支部第１地区会７月例会

治に居て乱を忘れず～唯我独尊の乱～

■報告者：**阿部　信之**　氏
有限会社阿部木工　代表取締役／愛媛県中小企業家同友会　会員

■報告者：**阿部　祥太**　氏
有限会社阿部木工　専務取締役／
愛媛県中小企業家同友会　松山支部第１地区会幹事

■日　時：７月 23 日㈫　■会　場：松山市青少年センター　■参加者：39 名

座長の矢野宏道さん

松山支部第１地区会単独例会の年間テーマは「治に居て乱を忘れず」。書籍化した故・鎌田哲雄さん執筆のコラム「陶冶」を第１地区会の幹事さんが読み、提案したことがきっかけです（vol.35 参照）。７月例会は㈲阿部木工・代表取締役の阿部信之さん、専務取締役の阿部祥太さんによる親子報告でした。

信之さんからは、同友会を活用することで報道機関を通じて自社を PR 出来たご経験を紹介いただきながら、事業内容や同友会での学びの実践について報告いただきました。例会で「よい人材を採用するのではなく、会社・世の中の役に立てる人材を自社で育成する」ことを学び、「働きたい人」の雇用に着手。障がいのある方も雇用したことで学びをより強く実感したとのこと。しかしながら、祥太さんは信之さんの実践を見て、その考えが信之さんを苦しめているように感じていました。信之さんが現場につきっきりで他の業務に集中できない。「社長が段取りしてくれたら仕事します」と自主的・自発的に仕事をしている社員さんが少ない。社内の雰囲気が悪く、阿部木工がどこを目指して経営しているのかが分からないという状態に感じられていたようです。

祥太さんは大学卒業後、コンサルタント会社に半年勤め、阿部木工に入社します。その際に得た“小手先”の知識・テクニックで自社を良くしようとしていました。しかし、どうやってもうまくいかず社員さんの理解が得られない。「なんでやってくれないんだ」という苛立ちや焦りで空回ってしまっていました。信之さんも祥太さんも「良い」と思って取り組んでいたことが実は社員さんにとっては良い取り組みではなかった。まさしく「唯我独尊」であったのです。

祥太さんは同友会の仲間から学び、「原理原則で人は変わらない。自分が変わって歩み寄らないとうまくいかない」ことに気づきます。そこから「①面談の実施」、「②大胆な社内改革」、「③業務の役割分担」、「④経営計画作成」、「⑤社員さんを巻き込んだ理念づくり」に取り組みました。すると社内の雰囲気も良くなり、業績も徐々に上がり利益率は過去最高。採用活動時には多くの方から応募が来るようになりました。「なぜ阿部木工なのですか？」と聞くと「社風が良いから」との返答。祥太さんの実践が実を結んだ瞬間です。

例会報告の様子

例会の最後には、信之さんから「9 月に承継を考えている」とありました。報告の中では、親子で衝突したエピソードもお聞きしましたが、互いに歩み寄り、協力してこられたからこそ、今の阿部木工があるのだと感じました。改めて、例会テーマは「治に居て乱を忘れず」。良くなってきた阿部木工のこれからの取り組みに注目です。

文責：難波　賢太（愛媛同友会　事務局）

松山支部第１地区会情報：トミーワーク南高井　河野聡子さん

今回、ご紹介させていただくのはトミーワーク南高井・施設長の河野聡子さんです。訪問では、「今現在同友会に関わる目的」「仕事に対する想い」「趣味やリラックス方法」についてお聞きしてきました！

＜今現在同友会に関わる目的＞

一事業所を任される身として必要となる様々な勉強ができる事が目的。また、色々な企業と繋がることで素晴らしい経営者と出会う事ができ自身の学びとなっています。

＜仕事に対する想い＞

人と関わることが好きで現在のトミーワーク南高井の仕事に就きました。基本的に仕事はおもしろい。人の生活に於いて欠かすことのできない「食」を扱う仕事。「この仕事を通じて人を育て、障がいのある方々が成長し一般企業で活躍することを願っている」との想いを聞かせていただきました。出社時、帰社時など、自分自身が気持ち良く仕事に取り組めるよう挨拶を徹底しているとのことです（誰もいない場合でも挨拶）。同友会内でもお弁当を注文してくれている方がいて、配達の度に社員さんたちの良さを知ってもらえています。社員さん達と泣いたり笑ったりを繰り返し共に成長しています。

＜趣味やリラックス方法＞

趣味を通り越してシャンソンが生きがいです！本気でプロを目指しています（何をするにも本気）！「人生を歌にする」というシャンソン。年を重ねるごとに深みが増すこの世界に魅了されているとのこと。松山市のムーングロウというお店で毎月第３水曜日の 21 時～ 23 時の間で歌ってます！

＜トピックス＞

「同友会の皆さんにはいつもお世話になりありがとうございます！」と河野さんからいただきました。河野さん、これからもよろしくお願いします！

寄稿：須崎　明良さん
（㈱石材振興会／松山支部第１地区会）

同友会理念の総合実践で持続可能な未来を築こう！
中同協設立 50 周年記念　第 51 回定時総会

報告する広浜泰久会長

2019 年 7 月 4 ～ 5 日、東京で中同協第 51 回定時総会が開催。愛媛から 12 名含む、47 同友会から 1,762 名が参加しました。今回の総会では「中小企業家の見地から展望する日本経済のビジョン」が提案されるとともに、「同友会運動の将来展望（10 年ビジョン）」を発表。広浜泰久会長より、「同友会運動の先進性と普遍性に誇りをもって、地域や世界にも広め、強靭な組織をつくる」ことが提起されました。

※総会議案・宣言・ビジョン等は、中小企業家同友会全国協議会ホームページよりダウンロードできます。ぜひご覧ください。
https://www.doyu.jp/org/material/

中同協定時総会・全体会の様子

また、今回は中同協設立 50 年を迎え、『中同協 50 年史－歴史と理念に学び未来をひらく』が発刊。広浜会長より運動推進のテキストとして活用が呼びかけられました。

愛媛同友会では、創立当初より関わられた中同協顧問・国吉昌晴氏をお招きし、同友会の歴史や理念のほか、同友会の企業づくりを学ぶ学習会を全会員対象で開く予定です。

○ 2019 年 10 月 16 日（水）18:30 ～ 21:00　@二番町ホール（松山市二番町 3 丁目 8-21　久保豊二番町ビル 3 階）

文責：安丸　雄介（愛媛同友会　事務局）

自分に合ったリーダーシップを発見しよう！
第 5 回リーダーシップ研修　閉講

講師の玉井和幸さん

7 月 5 日～ 8 月 2 日まで、全 4 講に渡り第 5 回リーダーシップ研修を開催しました。講師に玉井和幸さん（パートナーシップ経営塾・代表／愛媛同友会会員）をお迎えして、会員企業の現リーダー・次期リーダーにあたる社員さんを対象にした研修です。2018 年度より「中堅社員研修」から「リーダーシップ研修」へ名称を変更し、1 つのテーマを深く学ぶ研修を行っております。昨年度はファシリテーション」、今年度はズバリ「リーダーシップ」をテーマに行いました。

＜第 1 講・リーダーシップとは＞
＜第 2 講・いろいろなリーダーシップスタイル＞
＜第 3 講・自分に合うリーダーシップ＞
＜第 4 講・職場でリーダーシップを発揮するために＞

本研修は「そもそもリーダーシップとは何か？」「リーダーとマネージャーの違いは何か？」を考え、リーダーシップの定義を知ることからスタート。本研修の目的は自分に合ったリーダーシップを見つけること。研修の内容を鵜呑みにしてしまわないよう、研修では常に個人・グループで考える時間が設けられて、自分なりのリーダーシップ・リーダーシップスタイルを模索していきました。考える際の基準は「①リーダーはゴール・目的を指し示す人」「②与えられた環境や条件の中で、状況がより良くなる方向へ、変化させ続ける力（リーダーシップに欠かせない 3 要素）」です。学びを自社に持ち帰って活用できるよう、最終講では「リーダーシップを発揮するための指針書（簡易版）を作成しました。

研修でのグループワークの様子

研修参加者の振り返りシートから、研修目的の到達度は「平均 62%」。目的到達度の回答で最も多かったのは 50%。「今後の実践の中で 100%になる」「自社での実践とアウトプットを繰り返して身につける」といった前向きな理由からでした。受講者からは「心理学や経営学について、経営者の皆さんと学んでみたい」「問題や課題に対しての解決策等の学びがある研修に参加したい」「決算書の仕組み、管理会計の基本や分析について学びたい」という声が届きました。

求人教育委員会は採用・育成・定着までのワンストッププログラムがあります。次回研修は「同友会大学」です。ぜひ、社員さんと一緒にご参加ください。

文責：難波　賢太（愛媛同友会　事務局）

自社 PR にご活用ください！
経営フォーラム・名刺広告募集！

締切
10 月 25 日(水)

広告サイズは何種類ありますか？
また金額はサイズによってどのように変わりますか？

広告サイズは名刺サイズ（縦 47mm・横 82mm）を 1 口として、2 口、4 口、10 口（A4 サイズ）があり、金額は 1 口 5,000 円です。
会報誌の名刺広告が上記 1 口サイズと対応しています。

どのくらい印刷して、いつ、どこで、どんな人に届きますか？

220 部印刷予定（モノクロ）で、経営フォーラム当日の 11 月 28 日、会員さんやゲスト、オブザーバーの皆さんにお渡しします。
報道機関の皆様にもお声がけしておりますので、自社 PR にぜひご活用ください。

お申し込み・お問い合わせは
愛媛同友会事務局まで！
Mail：info@ehime.doyu.jp
Tel：089-948-9920

Check!!

＜2 口のサイズ例＞

よい会社・よい経営者・よい経営環境を目指して
愛媛県中小企業家同友会
since 1985.9.14

＜4 口のサイズ例＞

よい会社・よい経営者・よい経営環境を目指して
愛媛県中小企業家同友会
since 1985.9.14

報道機関 8 社 9 名　参加数過去最高！
第 22 回報道関係者との懇談会　盛況！

報道機関 8 社 9 名をお招きし、計 27 名の参加者で第 22 回目の報道関係者との懇談会が行われました。

南予の今を語る原田浩さん

開会挨拶では、平野啓三代表理事から SDGs や南予の中小企業をどう守るかという同友会の取り組みを報道陣に発信しました。続いて、事務局大北雅浩さんは、愛媛県中小企業家同友会が、どういう会であるかを、経営者が真剣に学ぶ会としての同友会の意義とともに話しました。その意義から、南予の企業のために何が出来るかをひも解いてゆきました。すなわち「南予商談会の実施とその成果」についての報告、こらからの南予支部の立ち上げについての報告です。愛媛同友会初の商談会は、南予の復興のために行い、会員以外の方々にも参加して頂きました。今後も継続します。報道関係者だけではなく、あなたにも知って頂き、参加して頂きたいと存じます。

南予商談会について
報告する大北雅浩さん

被災した株式会社誠実村の原田浩さんは、経営者としての被災後の心境を中心に話しました。物資面では、生活必需品だけではなく、元の生活を取り戻すためには、先祖を敬うための「線香」なども必要なのだという話しに参加者の皆さんがうなずいていました。実は、被災は心のダメージがあることがわかってきたと話し、報道されればされるほど、気持ちが萎えてきたという話しをしました。今後は、プラス思考の報道で、「地元のあいつが頑張っている」だから「私も頑張る」と、被災地の方々に希望を与え、勇気に繋がって治って行くという報道をして頂きたいと話しました。

同友会の今後の活動とその意義について、様々な発信もしました。松山市と連携したタハタ (多様な働き方) プロジェクトについて米田順哉代表理事が、1 日の活動では無く、継続的な支援をしてゆくことが大切と話しました。第 8 回経営フォーラム本田美紀実行委員長は、SDGs を軸とした「持続可能な企業づくりで、愛媛の未来を夢あるものに」をスローガンに運営するので、中小企業の良い活動を聞いて欲しいと述べました。有限会社内藤鋼業の内藤昌典さんは、エネルギーの地産地消の意義「エネルギーこそ地域循環」という内子町の取り組みを話し、さわりの部分は是非経営フォーラムにお越し頂き聞いて頂きたいと参加者の興味をそそりました。

全体の様子

懇親会ではざっくばらんな
意見交換を行いました

田中正志代表理事の「経営者が真剣に学ぶ真面目な会の生の声」をこれからも聞いて頂きたい」という締めの言葉で懇談会は終了しました。その言葉を受け、懇親会でも経営者の生の声を報道関係者に発信することができました。

寄稿：木本　康聖さん
（木本経営コンサルタント事務所／伊予・松前支部）

＜ご参加いただいた報道関係者の皆様＞

朝日新聞社：亀岡 龍太　様
愛媛新聞社：山本 良　様、亀井 咲希　様
南海放送：和氣 孝治　様
愛媛朝日テレビ：森田 甫　様
四国中央レポート：藤原 剛士　様
読売新聞社：石見 江莉加　様
愛媛経済レポート：行定 千織　様
テレビ愛媛：八木 貴士　様

しののめ 東雲 かなぼこ
無添加じゃこてん
こだわりのじゃこ天
その一、
宇和海・瀬戸の新鮮な魚を使用
その二、
添加物を使用していません。無添加！
その三、
天然岩塩使用
〒 790-0004
愛媛県松山市大街道 3 丁目 7-4
（松山城ロープウェイ乗り場斜め前）
TEL・FAX：089-935-8622
HP アドレス：http://umajaco.jp

ICT の知識や技術を活用し、お客様の夢をかなえます。
SPIRIT
WEB サイト制作・運用・保守
セキュリティ運用・関連商品導入
システム開発・サーバ構築
ネットワークインフラ構築・電話設備
各種機器販売
株式会社ディースピリット
〒791-1102 愛媛県松山市来住町 1430 番地 1
TEL：089-948-4100　FAX:089-948-4101

同友会で俳友会

日中はまだまだ暑い日が続きますが、朝晩は過ごしやすくなってきました。少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。秋の季語を探しに、野や山に出かけてみるのも良いかもしれませんね。

十一月号

兼　題　「秋深し」「勤労感謝の日」「※穭田（ひつぢだ）」「早生蜜柑（わせみかん）」
※刈り取った後の稲の切り株一面に、青々とした稲が再び生えた田

締め切り　九月三十日

講評：髙橋　大輔さん（広報情報化委員）

いずれの兼題で投句下さっても構いません。また、兼題に拘らず自由に詠んでいただいても構いません。

八月号兼題「秋近し」「夕焼け」「ゆやけ」「夕焼雲（ゆやけぐも）（ゆうやけぐも）」「西瓜割り（すいかわり）」「青林檎」最優秀賞の上甲洋子さんには、景品として（株）世起さんから商品の詰め合わせを贈呈しました。

今月の景品は
義農味噌（株）さんからでした！

投句とともに、
最優秀賞者への景品も
募集しております！

最優秀賞
鬼灯を口にころがしひとりかな

石村　伸子さん（有限会社ユアーズ・ケア）

上五中七の「鬼灯を口にころがし」の類想句は数多あります。ここに如何にオリジナリティを盛り込むかが、秀句となるかの分かれ目です。下五の「ひとりかな」により掲句はオリジナリティを獲得しました。

上五「鬼灯」を漢字で表現することで季語の「鬼灯」に焦点があたります。「ころがしひとりかな」を平仮名とすることで、作者の少しばかりの寂しさが伝わってきます。表記にも気を配った一句です。

優秀賞
石鎚の背に光りたる星月夜

杉原　一史さん（有限会社周桑電機工業所／今治支部）

季語の「星月夜」は、星の光が月のように明るい秋の夜のことをいいます。「石鎚の背に」とあるので、作者は石鎚山に登っているのではなく、麓から雄大な石鎚山を眺めていることが分かります。満点の秋の星が明るく輝き、石鎚山のシルエットが浮かび上がります。大きな景色を切り取った一句です。

義農味噌（株）さんからいただいたコメント

新商品「南予のおみそ汁」は、西日本豪雨の直後、南予の被災地に即席みそ汁を届けたことが開発のきっかけ。地域の麦みそ文化を守らねばという熱い思いが込められた商品です。

Wonderful Communication
www.e-itoman.jp
For Wonderful Life
Itoman

志賀
豆のことなら何でもご相談下さい
一寸入魂
志賀商店
株式会社志賀商店
愛媛県西条市今在家 921 番地
TEL:0898-64-1333
HP:http://shiga-mame.co.jp

新入会員のご紹介（3名）　（7月24日～7月30日）

門屋　晃二（かどや　こうじ）
1971年6月14日生まれ　**松山支部第3地区会**
社会福祉法人双星会　高木保育園　園長
保育園
〒791-8007　松山市高木町252番地
TEL(089)979-0172　FAX(089)979-6269
紹介者／㈱コピー愛媛　中村　剛

尾﨑　隆男（おさき　たかお）
1991年3月5日生まれ　**松山支部第1地区会**
尾﨑行政書士事務所　行政書士
行政書士業
〒790-0056　松山市土居田町8番地2
TEL(090)1172-0305
紹介者／㈱中須ビルサービス　別宮　祥司

田室　和紀（たむろ　かずのり）
1973年5月29日生まれ　**松山支部第2地区会**
愛媛県民球団㈱　取締役 統括マネージャー
プロ野球興行
〒790-0932　松山市東石井6丁目12-36
TEL(089)914-8102　FAX(089)914-8103
紹介者／NPO法人家族支援フォーラム　米田　順哉

○住所変更
会員／別宮　祥司（松山支部第1地区会）
企業名／㈱中須ビルサービス
新住所／〒790-0964　松山市中村3丁目2-13
リベルタ・ヴィラ1階

○会員変更
旧会員／北川　等（伊予・松前支部）
新会員／北川　裕子
企業名／㈱VOCE
役職／取締役

中小企業家同友会　全国交流会のご案内

障害者問題全国交流会 in 滋賀

◇日程：10月17日㈭13時00分開会～
18日㈮12時00分閉会
◇会場：琵琶湖ホテル（分科会・懇親会・全体会）
◇会費：22,000円（宿泊費別）
◇申込締切：9月30日㈪
※10月1日㈫以降のキャンセルは、会費・オプショナルツアー代金等の全額をご負担いただきます。ご了承ください。
◇お申し込み：愛媛同友会事務局まで

分科会・全体会等の詳細情報は
QRコードをチェック！（滋賀同友会HP）

月心グループ

□月心会館　葬祭会館
新　川　伊予市下吾川1854-2
空港通り　松山市高岡町287-3
港　南　伊予市市場139-1
余　土　松山市保免西1丁目3-6

□想心季・せとまる　葬祭会館
月　館　松山市柳原808
星　館　松山市府中604

□家族想ホール リアン　家族葬会館
道　後　松山市東野2丁目9-32

□法事会館しんかわ　法事会館
伊予市下吾川1856-2

□仏事相談センター・法事会館など　仏事相談
松山市保免西1丁目3-1

□えひめセレモニー　互助会
伊予郡松前町筒井291-10

□月心アルタ　仏壇・仏具・遺拝用品
和泉本店　松山市和泉北3丁目22-14
松前店　伊予郡松前町浜774-7
郡中店　伊予市湊町23-1

□十季　観光 送迎バス・生花
十季観光　伊予郡松前町筒井291-10

□メモリアル　ギフト・アフターサービス
伊予郡松前町筒井291-10

□ブライダルハウス マリエ　貸衣装
本　店　松山市朝美2丁目6-50
花嫁センター　伊予市灘町133-1

2019 年度　愛媛同友会　第 4 回理事会　議事録

【日時】2019 年 7 月 25 日㈭　18 時 30 分～ 20 時 00 分　【会場】二番町ホール
【出席者】理事 24 名　委任状 5 通　事務局 3 名　【議長】桑波田健　【議事録】安丸雄介

開会挨拶：平野啓三代表理事

協議事項

（1）来期の愛媛同友会定時総会について開催時期、運営のあり方について協議された。

○総会準備を実行委員会形式ではなく理事者運営にすること、総会「担当責任者」は引き続き設けること、議案書の意見受付期間を保証する等の総合的に考えて開催時期を 5 月に変更する案について、意見が求められた。

○好永隆之：総会の企画内容を一から考える総会実行委員会のあり方ではなく、理事会運営により円滑に本来力を割けるようにすることが趣旨。

○中周作：この間の運営をみて、県全体に関わる定時総会に実行委員会が一定の決定権限を与えられることに疑問があり、やはり同友会の中心を担う理事者が総会運営の基本となることで主体者意識を持つ必要がある。

○上田剛士：会計報告の議案書の完成に時間がかかるようだが、月次決算をしていく必要性もあるのではないか。

○米田順哉：来期からは現実的ではないが、総会議案書の工程や仕組みの変更も視野に入れても良いのではないか。現在県総会議案が決定後に各支部総会で議案報告される流れだが、例えば支部総会で決まった議案が翌月の県定時総会へ集約されるあり方も考えられ、中同協も各地の先進事例が集約されて方針化する同様のあり方である。

○渡部伸哉：支部からの積み上げ方式がより現実的な議案書になるが、会員増強など県全体で目指す数値目標と各支部の数値目標の積み上げが合致しない等の整合性をどう考えるかは、理事会で確認しなければならない。

○佐藤慎輔：各支部のまとめた議案を県定時総会に活かす場合、全会員に方針内容が周知されるという保証が重要。また、各支部が先走って決まった時に理事会で覆される懸念もあり、理事会で対応の意思統一が必要。

○堀内章：あくまで方針策定の流れはまず県全体の大枠を打ち出し、各支部に落とし込むあり方ではないか。

（2）議案書工程のスケジュール具体化について協議された。

提案内容：①中同協方針を見据えたスケジュールとし、中同協議案の学習会を行うこと、②議案書成文化の工程は従来通りを踏襲するが、活動計画もより具体化を早期に行い、幹事会・委員会の来期に向けての意思統一を図る、③早期の着手により、全会員へ十分な論議をする期間を設けること。協議内容を踏まえ最終的に理事会にて承認を得る。

○米田順哉：政策委員会では中同協方針の学習をしようと考えているところ。今期の議案書にもとづく活動をしながら、9 月ごろには来期の議論も並行して、まずは中同協方針や全国の事例等も学習しながら愛媛同友会の到達点を確認していき、来期方針の具体化につなげていく。

○三好大助：今年度の活動を実行中で半期も過ぎていない中で次期方針の協議をするのは、通常の会社のことで考えても、スケジュールとして早すぎるのではないか。

○平野啓三：進捗管理 PDCA が出来ていれば、次期方針も見据えながら今期活動と並行して協議することはありうる。進捗管理ができていない現状で次期方針を協議するのは空論になりがちで違和感があるかもしれない。スケジュールそのものの協議も必要だが、本来はビジョンに基づく方針を協議すべき。

○中周作：次期人事も含め県全体で一定のスケジュール管理をする意味はある。県方針が作成され理事会で時間をかけて論議しながら作り上げながら、各支部に方向性を指し示されて方針を協議していくのが正しい流れではないか。

県全体の方針協議は工程案どおり早めに協議を始め、各支部・委員会内の協議や数値目標決定は遅くてもよい。

○中道昇：県総会・支部総会の前後関係は早めに決定する必要がある。

（3）同友会大学の開催日程のあり方について協議された。

承認事項

（1）入退会承認

（2）本田美紀・経営フォーラム実行委員長より報告があり、参加登録料について承認された。

○登録料 10,000 円。ただし、今年度は増強を進める観点からゲストについて、またオブザーバー（会員企業の社員に限る）は記念講演・分科会のみで懇親パーティーに参加されない場合は 5,000 円とする。

（3）松山大学経済学部 授業「社会人セミナー」コマへの社員登壇の依頼について承認された。

（4）アイム・ジャパンセミナーの後援依頼について承認された。

報告事項

（1）景況調査の理事の回収状況について報告され、理事・幹事の役割として自社の回答と他に会員 1 名の記入の呼びかけを行う事について再確認された。

（2）中同協、代表理事会議、各支部、各委員会等の活動報告

○中同協総会で「中小企業家の見地から展望する日本経済ビジョン」「中同協設立 50 周年 同友会運動の将来展望（10 年ビジョン）」が提起され、また「広浜泰久会長からの手紙」について安丸雄介事務局長より説明された。

○松山大学「えひめ職場体験プログラム」について県内地元中小企業について学生に知ってもらう良い機会となったと、来年度以降の協力が呼びかけられた。

○松山短期大学 2019 年度後期・地域デザイン論授業　昨年同様、業種を問わず 2 社会員企業の登壇依頼。

○松山市地方創成若者会議への社員の参加協力のお願いについて安丸雄介事務局長より説明がありました。

○平野啓三環境経営委員長より、研究チームとして①レジ袋・プラスチック、②食品ロス・廃棄物問題の 2 チームを検討すると報告され、各幹事会で議題に挙げ、各社の状況を交流する場を持ってほしいと呼びかけられた。

○武田正輝・広報情報化委員長より 7/31 報道関係者との懇談会の参加状況が報告され、参加が呼びかけられた。

（3）南予支部設立に向けたスケジュールと今後の取り組みについて

○第 3 回南予交流会　7/12 ㈮　19：00 @料苑たる井　14 名参加。ゲスト 2 名参加

○第 2 回南予支援商談会についてはコープえひめの応援グッズの具体化を待ち、延期する。

○南予出張例会　9/14 ㈯　13：00 @幸野観光なし園

（4）全国・四国ブロック、他団体行事について説明がありました。

閉会挨拶：田中正志代表理事

私たちは ICT で、誰もが働きやすい社会を創出します。

株式会社 フェローシステム
http://www.fellow.co.jp/
089-987-6046

特定非営利活動法人 フェロージョブステーション
http://npo-fjs.org/
089-945-7698

システム開発事業・Web 開発事業
IT を使って、地域の方々の「あったらいいな」を実現するシステム開発、Web 制作を行います。

就労移行支援事業
現役で活躍する IT エンジニアが技術支援を行い、障がいを持つ方が就労するためのお手伝いをします。

就労継続支援 A 型事業
障がいを持つ方が、仕事を通じて社会的に自立し、地域へ貢献する人財となる就労の場を提供します。

放課後等デイサービス事業
障がいをもつ子供たちが、IT 学習を通して、社会性、人間性を身につけ、夢を実現するお手伝いをします。

伊予 さつま
あったかご飯にかけるだけ
えひめ南予・中予地方で今も食卓にのる
麦みそと海の幸・山の幸を
まぶして食べる郷土の味
GINO MISO CORPORATION ギノーみそ 株式会社

究極の挑戦者

麺屋十銭

昔ながらの尾道中華そば

〒790-0004　愛媛県松山市大街道２丁目３－１５
携帯　０９０-１１７０-１８６０

ALTERATION & CLEANERS

清水屋クリーニング

私たちが考える良いワイシャツとは、
エリが綺麗なこと。
着心地がしなやかでハリがあること。
清潔でいられること。

E-mail shimizu@infomadonna.ne.jp
〒790-0053 愛媛県松山市竹原４丁目 8-47
TEL 089-941-7388
FAX 089-947-2833

有限会社矢野商事（矢野質店）

住所:松山市花園町2番地3　電話:089-941-4044

いっせいグループ
Issei Group
「食」を通じて笑顔の輪を広げます。

三番町店 089-915-1194
松山三番町の関 089-945-3829
089-968-6836
居酒屋 銀の鶏 089-927-1778
愛彩館 089-955-2008
居酒屋 ぶらぶらある記 089-933-6716
レストラン・カフェ haco 朝生田店 089-935-8558
お酒の販売店 媛の蔵 HIMENOKURA 089-947-6817

弁護士法人 **たいよう**

四国の躍進は地域企業と法律家の連携で

愛媛県弁護士会所属　代表弁護士／吉村紀行

愛媛県　松山事務所　☎089-907-5601
愛媛県　大洲事務所　☎0893-59-0353

リース車両メンテから、愛車の「困った」、点検まで

トータル・カーメンテナンス
恭栄自動車株式会社

松山市空港通1丁目8-2 〒790-0054
TEL 089-972-1228代
FAX 089-971-4419

保険調剤・ヘルスケア

平野薬局グループ

株式会社　平　野

エコアクション21

〒794-0028　今治市北宝来町2丁目2-22
TEL（0898）32－0255
FAX（0898）32－0350

税理士法人
asitao
（あしたお）

― 明日を拓くパートナー ―

安部　真 ／ 井上　徳之 ／ 近藤　壮 ／ 十河　篤史

〒790-0066　愛媛県松山市宮田町 186 番地４　松山駅前ビル４F
TEL：089－948－8294　FAX：089－948－8296

『企業の人のつながりを支えます。』

【提供サービス】
・社外総務支援サービス
・労使トラブル解決支援サービス
・会社を守るリスク管理支援サービス
・人事制度構築支援サービス
・社風向上支援サービス

SRP 全国社会保険労務士会連合会 II
認証番号：1600609

横本社会保険労務士事務所

〒791-3120　愛媛県伊予郡松前町1350-6
TEL 089-984-2078　FAX 089-984-8533
URL　http://www.humanity.co.jp

～人の一生を支えられる企業になりたい～

社団法人　日本義肢協会会員
＝義肢・補装具・車椅子・補助杖・その他福祉関連商品＝

有限会社　オルソ本田

オルソ本田 ORTHO HONDA

〒７９０－０９４７
松山市市坪南丁目４番２４号
ＴＥＬ（０８９）９５８－６６１７
ＦＡＸ（０８９）９５８－６６４１
E-mail:ortho@abelia.ocn.ne.jp
http://ortho-honda.com/

～災害に強いまちづくりをお手伝いします～
家庭用からプロ仕様まで / 消防・防災の専門商社

株式会社 岩本商会

本社　松山市大手町一丁目 10 番地 1
TEL 089(947)2111・FAX 089(947)2116
高松支店 / 宇和島営業所 / 姫原倉庫
http://www.iwamotosyoukai.co.jp

夢文化 創造企業

株式会社ハート

クリスマス菓子詰め合せ商品や
バレンタイン、ホワイトデーひなまつり菓子など
お菓子ギフト商品のメーカーです

大可賀事業所
〒791-8505
愛媛県松山市大可賀3-150-8
TEL 089(952)0810㈹
FAX 089(952)8101
http://www.heart-ltd.jp/

NPO法人

家族支援フォーラム

しょうがいのある方の地域生活をサポートします。

めん処 矢磨樹　Happy Clean　ゆるり茶屋 家　yume ya

http://www.h7.dion.ne.jp/~kazoku/

MOVE YOUR HEART!

服部製紙株式会社
HATTORI PAPER MFG. Co.,Ltd.

〒799-0112　愛媛県四国中央市金生町山田井171ー1
TEL0896-58-3005　FAX0896-58-3306
http://www.hattoripaper.co.jp

ENEOS

JXTGエネルギー株式会社特約店
～灯油・軽油・A重油の配達もお任せください～

日興石油株式会社

本社 中の川ＳＳ	松山市湊町4丁目1番地2	089(931)3221
三番町ＳＳ	松山市三番町6丁目4ー17	089(941)7685
カーフォート かもがわＳＳ	松山市鴨川2丁目17ー1	089(978)1616
和気ＳＳ	松山市和気町1丁目473ー1	089(979)2044
配送センター	松山市空港通4丁目3ー39	089(972)1002

ハト飛来防止用忌避剤
「ハートジェル」販売・施工代理店

株式会社トータル・ビル・サービス
松山市松前町２丁目８ー３
TEL 089-946-3255

ハト飛来防止用忌避剤
ハートジェル
Pigeon Evasion Jell
HATO JELL

ハトの被害に頭を抱えていませんか？**「ハートジェル」**はハトの習性を研究して完成した、ハトを傷つけずに追い払う特殊ジェルの忌避剤です。テスト施工無料。
※器具やネット等の取り付けと違い、建物の美観を損ないません。
※効果は１年以上持続し、添付面を汚染することもありません。
お気軽にお問い合わせください。

環境と未来を考えるシステムの包装商社

株式会社 パステムマツザワ

本社	〒791-8507	松山市久万ノ台695番地1	TEL 089−925−7811
中央市場営業所	〒791-8016	松山市久万ノ台348番地1	TEL 089−924−3380
宇和営業所	〒797-0045	愛媛県西予市宇和町坂戸542-4	TEL 0894−62−8980
新居浜営業所	〒792-0872	新居浜市垣生3丁目310−11	TEL 0897−67−1788
広島営業所	〒733-0804	広島市西区山手町17−3	TEL 082−235−1003
高知営業所	〒780-8040	高知市神田971−1	TEL 088−833−3433
徳島営業所	〒771-0204	徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保200−1	TEL 088−698−1585
香川営業所	〒761-2403	丸亀市綾歌町岡田西1081番地18	TEL 0877−35−7010
パックマート久万/台店	〒791-8016	松山市久万ノ台684−1	TEL 089−924−2475

和洋菓子製造

株式会社 世起

愛媛県伊予郡松前町北川原 1240-1
TEL089-984-6658

よりよいくらしの想いをかたちに

共同購入・宅配・店舗・福祉・共済・旅行・プレイガイド

コープえひめ
本部/松山市朝生田町 3-1-12
TEL(089)931−5201
http://www.coopehime.or.jp

あったかい味
お届けします

株式会社 ナカ フードサービス
NAKA FOOD SERVICE

松山市大可賀2丁目2-12　☎952-1156